

# 海外現地法人の動向（海外現地法人四半期（1～3月期）調査） 要 旨

平成16年4～9月の見通し(DI)は、

- ・ 売上高DIはIT景気であった12年4～6月期以来の高水準。輸送機械、電気機械が好調で、全地域で改善。中国は高水準を持続、特にNIES3は前期からの回復が目立つ。
- ・ 設備投資DI、従業者DIも高水準を維持。

平成16年1～3月期の実績は、

- ・ 売上高は、アジアが好調で、2期連続大幅な増加。好調な輸送機械や電気機械の回復から、全地域で増加。中国が好調、NIES3が回復。
- ・ 設備投資は、アジアが好調。ASEAN4は輸送機械が好調で大幅増加。
- ・ 雇用は、中国が好調。北米、欧州は引き続き減少。

調査時点：平成16年5月中旬

今回調査のポイント

**1. 売上高見通し(DI)<sup>1</sup>は世界経済の回復から、32.3%ポイントとIT景気であった12年4～6月期(35.5%ポイント)以来の高水準。売上高実績(ドルベース)は前年同期比17.3%増と2期連続2桁増加。**

当期の見通し(DI)は、全地域でプラス水準を持続。特に中国<sup>1</sup>は46.4%ポイントの高水準。前期比では全地域で改善。アジアが大幅に改善。特に電気機械の大幅な改善からNIES3<sup>2</sup>、中国がともに2桁の改善。

実績は全地域で引き続き増加。アジアは7期連続2桁増加。特に、デジタル家電の拡大等による電気機械の増加から、中国は大幅な増加が持続し、NIES3は2期連続2桁増加。

**2. 設備投資見通し(DI)は20.5%ポイントと9期連続2桁と高水準を持続。実績は前年同期比1.1%増と5期連続増加。**

当期の見通し(DI)は、引き続き全地域でプラス。アジアは9期連続2桁台のプラス水準。特に、NIES3は2桁の水準に回復し、中国は引き続き高水準を持続。

実績は5期連続増加。アジアは6期連続増加。特にASEAN4<sup>3</sup>は輸送機械、電気機械が好調で同37.2%増と大幅増加。

**3. 従業者見通し(DI)は7期連続でプラス水準。実績は前年同期比3.2%増と8期連続増加。**

当期の見通し(DI)は、8.7%ポイントと7期連続でプラス水準。アジアは2桁の水準。なかでも中国は、電気機械の改善から21.7%ポイントと引き続き2桁のプラス。北米も改善。

実績は8期連続増加。アジアは引き続き増加。特に、中国は電気機械が好調で同15.0%増と8期連続2桁増加。一方、電気機械の減少で北米、欧州は引き続き減少。

注：平成15年4～6月期調査から原則ドルベースでの公表に変更。

当期実績の前年同期比は継続調査対象のみで算出（平成15年4～6月期から調査範囲の拡大(出資比率50%超 50%以上)等を行ったことから、平成15年4～6月期実績と平成15年1～3月期以前の実績に断層が生じているため、14年度から15年度に継続調査対象となった現地法人で算出した）。

\* 1 中国：香港を含む。 \* 2 NIES3：シンガポール、台湾、大韓民国

\* 3 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

\* 4： DI = 増加と回答した企業の割合 - 減少と回答した企業の割合

DIの前期比 = 当期DI - 前期DI

当期DI：平成16年1～3月期調査時点のDI（平成16年4～9月の見通し）

前期DI：平成15年10～12月期調査時点のDI（平成16年1～6月の見通し）

# 1. 売上高

売上高D Iは、世界経済の回復から、32.3%ポイントとI T景気12年4～6月期（35.5%ポイント）以来の高水準。前期比では、8.9%ポイントと改善。

当期D Iは全地域でプラス水準を持続。特に中国は46.4%ポイントと高水準。前期比では全地域で改善。アジアが大幅な改善。特に電気機械の大幅な改善からN I E S 3、中国がともに大幅な改善。

売上高（ドルベース）は、前年同期比17.3%増と2期連続で2桁増加。

全地域で引き続き増加。特にアジアは7期連続2桁増加。なかでもデジタル家電の拡大等による電気機械の増加から、中国は大幅な増加が持続し、N I E S 3は2期連続2桁の増加。輸送機械等の増加から、北米、欧州も引き続き増加。

（参考）海外経済は、アメリカの景気は力強く回復している。アジアでは中国、タイ、マレーシア、台湾、シンガポールで景気が拡大し、韓国は景気が回復している。ユーロ圏は景気が穏やかに回復している。（月例経済報告（6月）より抜粋）

(1) 売上高D Iは、世界経済の回復から、32.3%ポイントとI T景気であった12年4～6月期（35.5%ポイント）以来の高水準（1表、1図）。

前期比では、8.9%ポイントと改善（前期D I 23.4 当期D I 32.3）。

- 業種別では、当期D Iは全業種でプラス水準を持続。前期比では、電気機械は同10.4%ポイントと、輸送機械は同7.2%ポイント、ともに2期連続改善。一般機械も同5.2%ポイントと5期連続改善。化学も同12.3%ポイントと改善。
- 地域別では、当期D Iは全地域で引き続き2桁のプラス水準。特にアジアは37.4%ポイントと引き続き高水準となり、なかでも中国は46.4%ポイントと高水準。前期比は2期連続全地域で改善。アジアは11.2%ポイントと2桁の改善。なかでも、電気機械の大幅な改善から、N I E S 3（15.7%ポイント）及び中国（11.6%ポイント）は、ともに大幅な改善。北米、欧州も改善。

(2) 売上高（ドルベース）は、前年同期比17.3%増と、2期連続2桁増加（1表、1図）。

- 業種別では、13業種中12業種が増加。特に輸送機械は前年同期比20.7%増、一般機械は同21.6%増と、ともに8期連続増加。また、電気機械は、デジタル家電の拡大等から前期から大幅に回復し、同13.9%増と2期連続2桁の増加（2図）。
- 地域別では、引き続き全地域で増加。特にアジアは7期連続2桁増加。なかでも、電気機械等の増加から、中国は同38.9%増と4期連続30%台と好調を持続し、N I E S 3は同18.7%増と前期から2桁増加。また、北米、欧州も輸送機械等の増加から引き続き増加（3図）。

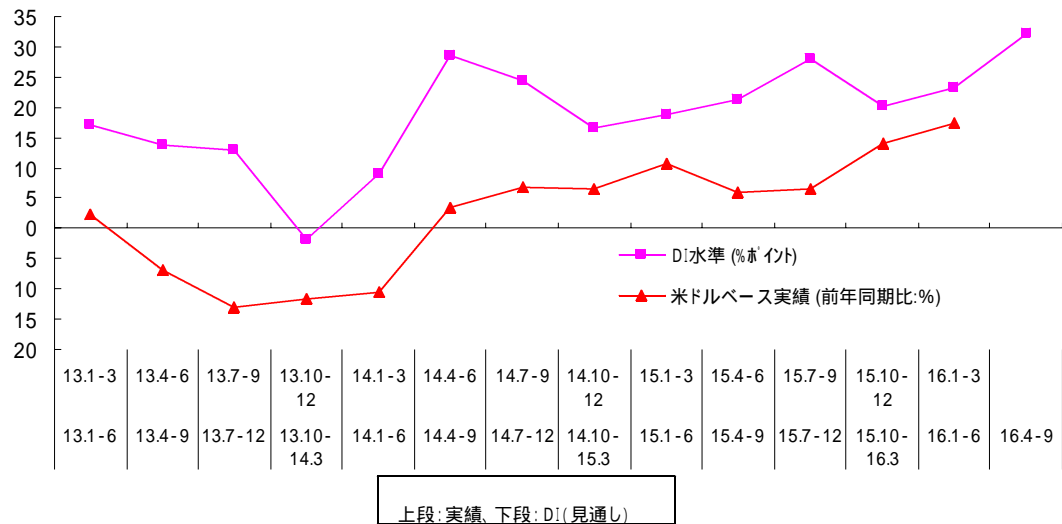
1表 売上高の地域・主要業種別のD I見通し(平成16年4～9月)及び実績(平成16年1～3月期)

(単位: 前年同期比%, 前期比%ポイント)

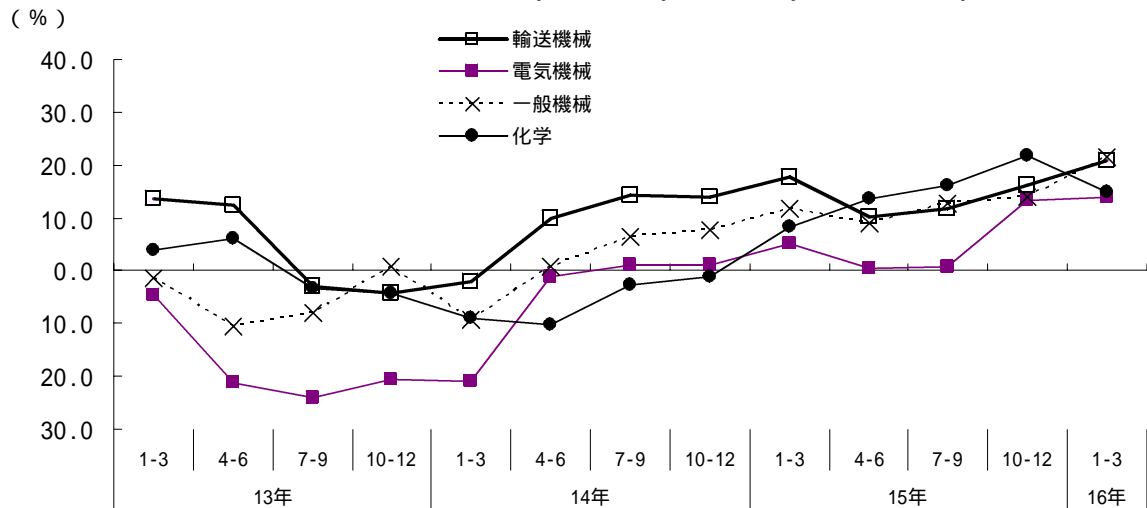
	計 (業種・地域)		輸送機械		電気機械		一般機械		化学	
D I(前期D I 当期D I)	23.4	32.3	26.0	33.2	21.7	32.1	28.8	34.0	25.0	37.3
D I(前期比)	8.9		7.2		10.4		5.2		12.3	
実績 (前年同期比)	17.3		20.7		13.9		21.6		14.8	

	北米		アジア		ASEAN 4 <sup>*3</sup>		N I E S 3 <sup>*2</sup>		中国 (香港を含む)		欧州	
D I(前期D I 当期D I)	19.0	24.4	26.2	37.4	25.8	34.4	12.4	28.1	34.8	46.4	18.6	19.7
D I(前期比)	5.4		11.2		8.6		15.7		11.6		1.1	
実績 (前年同期比)	9.2		27.6		18.1		18.7		38.9		19.9	

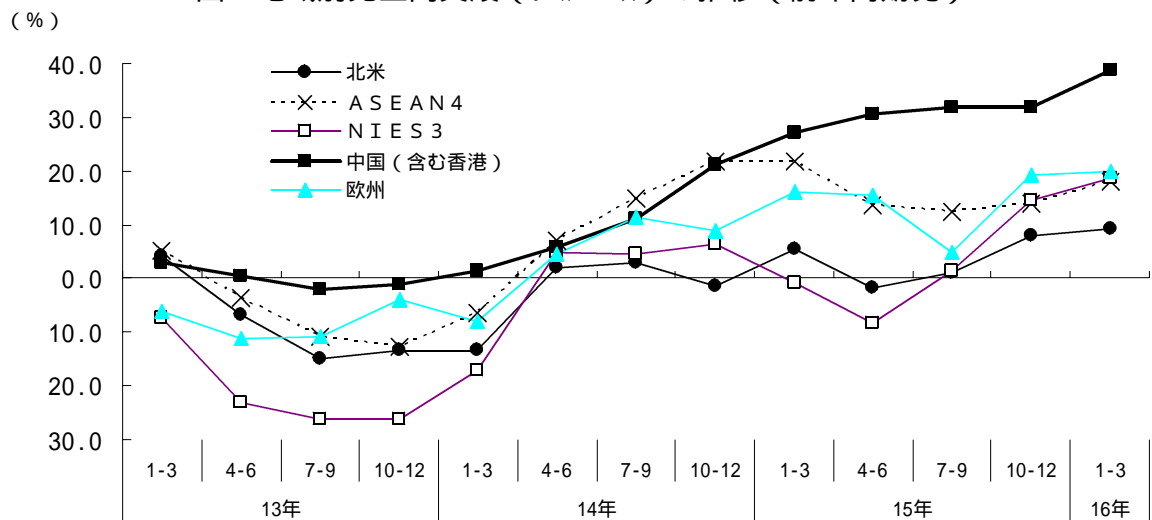
1図 売上高の見通しDIと実績(ドルベース)の推移  
全地域(売上高)



2図 主要業種別売上高実績(ドルベース)の推移(前年同期比)



3図 地域別売上高実績(ドルベース)の推移(前年同期比)



## 2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

設備投資額DIは、20.5%ポイントと、9期連続2桁台の高水準。前期比では、3.5%ポイントと2期連続改善。

当期DIは引き続き全地域でプラス。アジアは9期連続2桁のプラス水準。特に、NIES3は2桁の水準に回復し、中国は引き続き高水準を持続。

設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比1.1%増と5期連続増加。

アジアは6期連続の増加。特にASEAN4は輸送機械、電気機械が好調で同37.2%増と大幅な増加。

(1)設備投資額DIは、20.5%ポイントと9期連続2桁の高水準。前期比では、3.5%ポイントと2期連続改善（前期DI 17.0 当期DI 20.5）（2表）。

- ・ 業種別では、当期DIは13業種中12業種でプラス水準。前期比では13業種中6業種で改善。電気機械は同9.1%ポイントと2期連続改善。一方、輸送機械は高水準ながら、同5.8%ポイントと悪化。
- ・ 地域別では、当期DIは、引き続き全地域でプラス水準。アジアは25.2%ポイントと9期連続2桁台のプラス。特に電気機械の改善から、NIES3は18.3%ポイントと2桁台に回復し、中国は27.7%ポイントと引き続き20%台の高水準を持続。北米、欧州も引き続きプラス水準。

(2)設備投資額の実績（ドルベース）は、前年同期比1.1%増と5期連続増加（2表）。

- ・ 業種別では、電気機械は同32.7%増と大幅な増加となり、3期連続増加。一方、輸送機械は同20.0%減と前年大幅増の反動から減少（4図）。
- ・ 地域別では、アジアは6期連続の増加。なかでもASEAN4は輸送機械、電気機械の増加から同37.2%増と大幅な増加。一方、北米は同8.6%減と輸送機械の前年大幅増の反動から減少。欧州も引き続き減少（5図）。

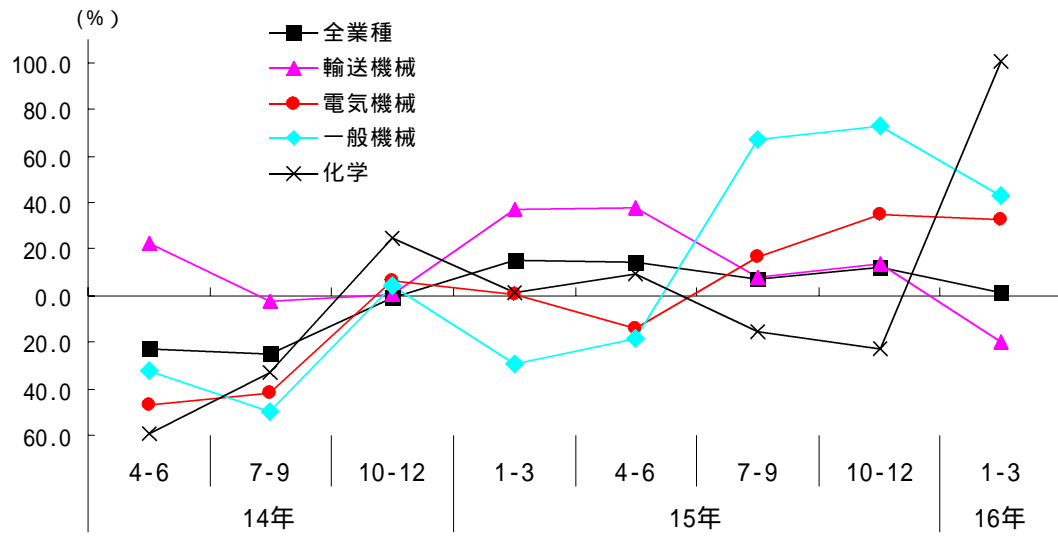
2表 設備投資額の地域・主要業種別のDI見通し(平成16年4 - 9月)及び実績(平成16年1 - 3月期)

(単位:前年同期比%、前期比%ポイント)

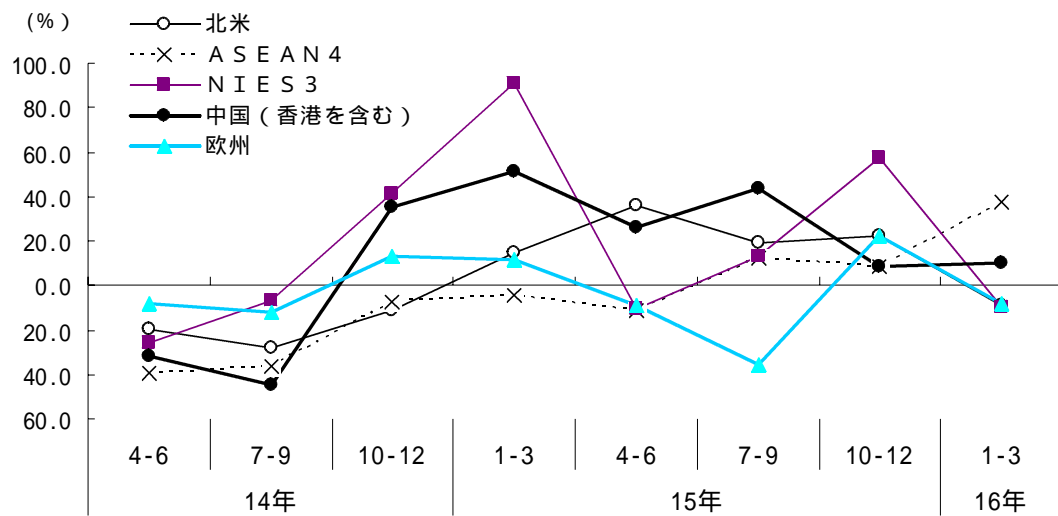
	計 (業種・地域)		輸送機械		電気機械		一般機械		化学	
DI(前期DI 当期DI)	17.0	20.5	21.9	16.1	14.3	23.4	14.2	17.0	9.6	17.9
DI(前期比)	3.5		5.8		9.1		2.8		8.3	
実績 (前年同期比)	1.1		20.0		32.7		43.1		100.4	

	北米		アジア		ASEAN4 <sup>1,3</sup>		NIES3 <sup>2</sup>		中国 (香港を含む)		欧州	
DI(前期DI 当期DI)	11.7	14.0	19.8	25.2	20.3	25.3	4.0	18.3	26.5	27.7	11.4	12.0
DI(前期比)	2.3		5.4		5.0		14.3		1.2		0.6	
実績 (前年同期比)	8.6		21.2		37.2		10.9		9.9		7.9	

4 図 主要業種の設備投資額(ドルベース)(前年同期比)の推移



5 図 地域別の設備投資額(ドルベース)(前年同期比)の推移



### 3. 雇用

従業者数D I（平成16年4～9月）は、8.7%ポイントと7期連続プラス水準。前期比は、2.2%ポイントと改善。

アジアは2桁の水準。なかでも中国は、電気機械の改善から21.7%ポイントと19期連続2桁のプラス。北米は輸送機械の改善から、2期連続プラス水準。

従業者数（平成16年3月末）は、前年同期比3.2%増と8期連続の増加。

アジアは引き続き増加。なかでも、中国は電気機械が好調で同15.0%増と8期連続2桁増加。一方、北米、欧州は、電気機械の減少から引き続き減少。

(1)従業者D Iは、8.7%ポイントと7期連続のプラス水準。前期比は、2.2%ポイントと2期連続改善（前期D I 6.5 当期D I 8.7）（3表）。

- 業種別では、当期D Iは13業種中10業種がプラス。輸送機械が17.2%ポイントと2期連続2桁のプラス水準。一般機械も13.0%ポイントと2桁のプラス水準。  
前期比は輸送機械、電気機械、一般機械など13業種中8業種で改善。
- 地域別では、アジアは2桁の水準となり、なかでも中国は、21.7%ポイントと19期連続2桁台のプラスで推移。北米は4.4%ポイントと前期からプラス水準となり、欧州は引き続きマイナス水準。  
前期比は、北米が輸送機械の改善から同3.5%ポイントの改善。アジアは同2.0%ポイントと4期連続改善。なかでも、中国は電気機械の改善から同3.2%ポイントと2期連続改善。一方、欧州は同0.1%ポイントとわずかに悪化。

(2)従業者数（期末）は235万人、前年同期比3.2%増と8期連続の増加（3表）。

- 業種別では、電気機械は同5.7%増と7期連続の増加。輸送機械は同5.2%と引き続き増加。
- 地域別では、アジアは同6.7%増と引き続き増加。なかでも、中国は電気機械が好調なことから同15.0%増と8期連続2桁増加。一方、北米、欧州は電気機械の減少から引き続き減少。

3表 従業者数の地域・主要業種別のD I見通し(平成16年4～9月)及び実績(平成16年1～3月期)  
(単位:前年同期比%、前期比%ポイント)

	計(業種・地域)		輸送機械		電気機械		一般機械		化学	
D I(前期D I 当期D I)	6.5	8.7	15.9	17.2	5.2	9.5	3.8	13.0	7.6	7.2
D I(前期比)	2.2		1.3		4.3		9.2		0.4	
実績(前年同期比)	3.2		5.2		5.7		0.9		3.2	

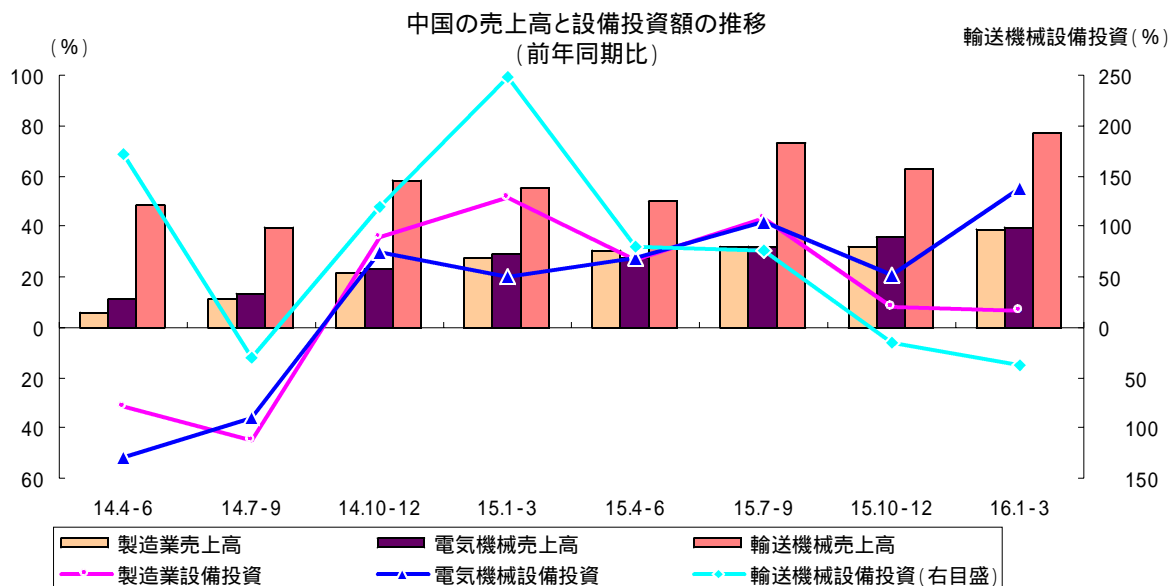
	北米		アジア		ASEAN <sup>4</sup> ・3		NIES <sup>3</sup> ・2		中国(香港を含む)		欧州	
D I(前期D I 当期D I)	0.9	4.4	9.7	11.7	4.7	6.8	0.3	0.4	18.5	21.7	0.3	0.4
D I(前期比)	3.5		2.0		2.1		0.1		3.2		0.1	
実績(前年同期比)	4.4		6.7		1.5		2.0		15.0		1.2	

## 【トピックス】

中国（香港を含む）の設備投資額は、売上高の好調を反映し6期連続増加

電気機械は、売上高、設備投資とも引き続き高い伸び、

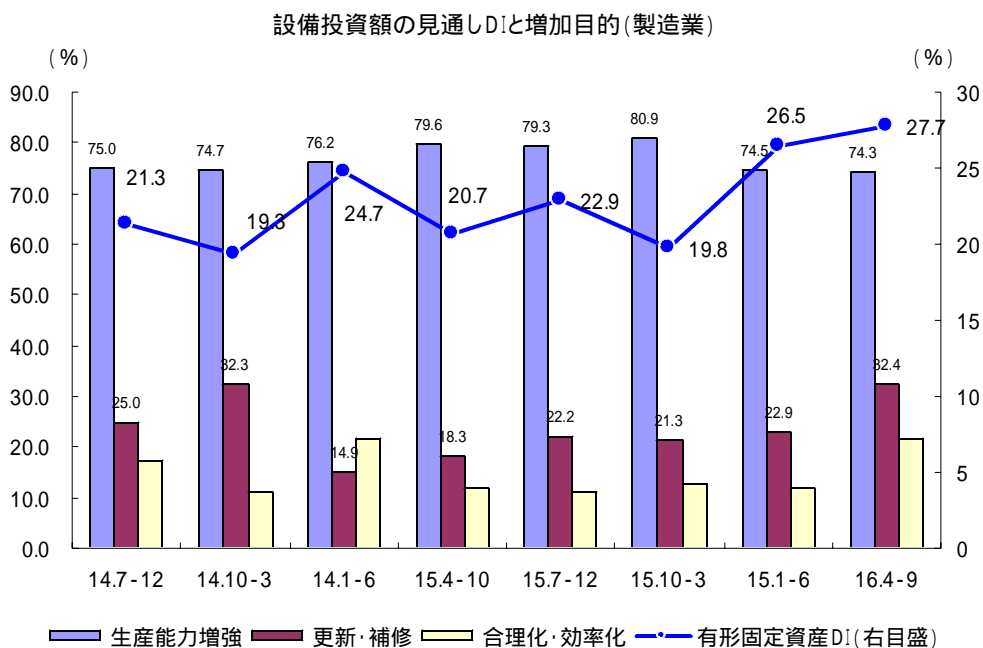
輸送機械は、売上高は伸びるも設備投資は2期連続低下



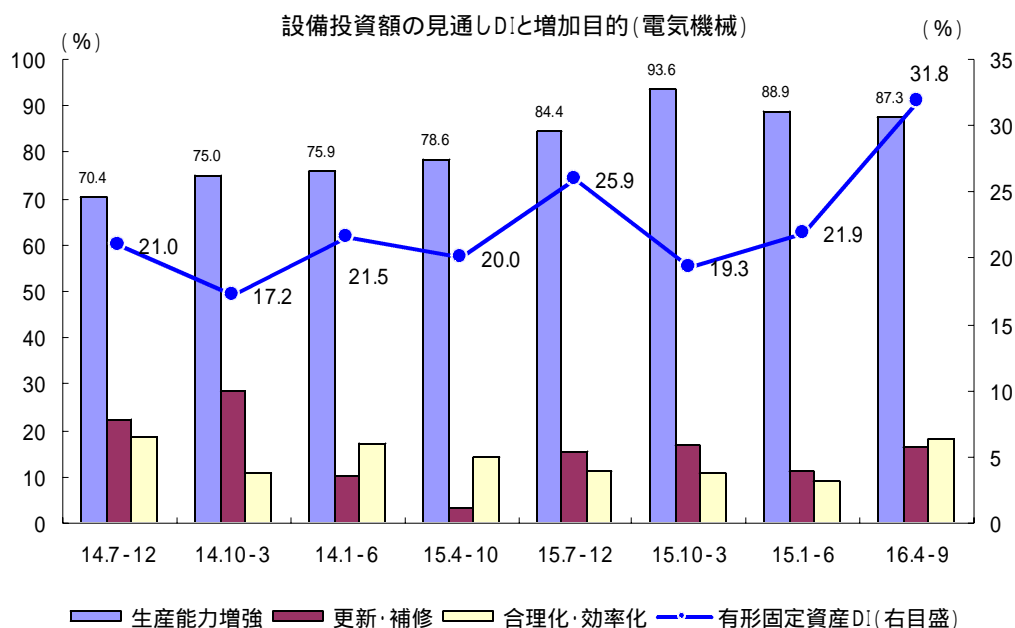
設備投資額D I は、高水準で推移

「能力増強」の割合は、前々期の80%台から70%台に低下、

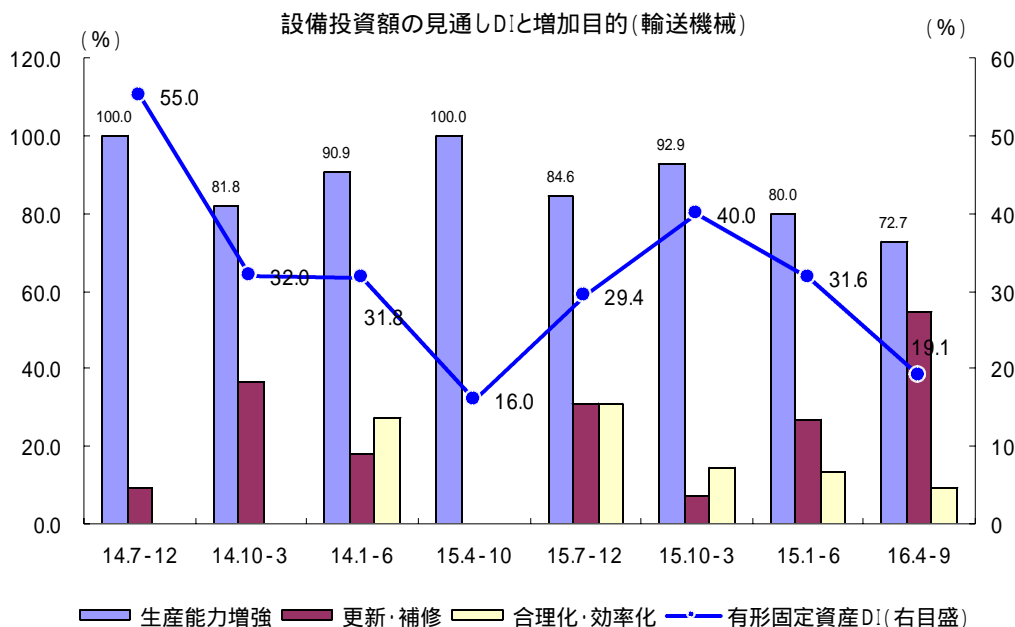
「更新・補修」、「合理化・効率化」が再び上昇



電気機械の設備投資DIは、31.8 %ポイントと一段と高水準  
「生産能力の増強」の割合は、高水準で推移



輸送機械の設備投資DIは、19.1%ポイントと2期連続の低下  
「生産能力の増強」の割合は低下



\*【増加目的別比率】は、見通しに「増加」と回答した企業で「生産能力増強」、「更新・補修」、「合理化・効率化」、「その他」の項目に回答(複数回答可)した企業の比率。